

企業名： グローリー

レポート名： INTEGRATED REPORT 2024

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

理解しやすかった。まず、理念の面では企業理念の他に経営理念、社員規範、行動指針とあったものを企業理念と「わたしたちの価値観」という二点にまとめ、わかりやすい構造になっていた。そして、他企業では理念の内容に要素を多く詰め込み、わかりづらいものになっているケースをよく見かけるが、「求める心とみんなの力」という簡潔かつわかりやすい理念とそれに基づく 6 つの価値観が定められていて理解しやすい。また、新社長メッセージなどからも稼ぐ力強化や、環境変化への対応が強調されていて長期ビジョン 2028 の目標である「新たな信頼」を目指せるのではないかと感じた。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

理解できたが、一方でもう少し説明されていても良い気がした。各事業ごとのページにて、シェア割合など数値が出ているが、競合分析は行われていないようだった。事業ごと、市場ごとに競合相手が大きく異なってくること、シェアがダントツで競合の動きを気にしすぎる必要がないことがその理由のように思えるが、もう少し他社比較のデータを盛り込んでも良い気がした。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

理解はあまりできなかつたが、取り組みはよく理解できた。優位性が続く市場、事業がある一方で、市場の縮小や現金処理のニーズ減少などにより、今までの強みである現金処理機や金融市場でのシェアに頼ってもいられない状況になってきている。また、2023 年度の好況、その前の 2022 年度の赤字からもわかるように、新紙幣需要や、半導体などの部材調達困難など環境に大きく影響を受けてしまう現状がある。そのため、リスク、機会分析を行い、強みである認証、メカトロ技術の生かし方を模索していることが理解できる。また、各事業に細分化して、同じようにニーズやリスク、課題を洗い出し強み、新事業を作ろうとしている点も、環境変化に左右されにくい、持続性、安定性を確保する上で重要だと考えた。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

達成できると思う。企業の人的資本のページがあり、DX、イノベーション、マネジメントの三種の人材の育成を掲げており、e ラーニング、社内ビジネスコンテスト、異業種交流、海外トレーニー制度といった人的資本価値向上のための取り組みが多く行われているようだ。ただ、ダイバーシティを表す女性管理職比率といった K P I の数値は高いとはいえず、

これらの紹介された取り組みも詳細は書かれておらず、全社員がどれだけサービスを享受でき、自身の市場価値を高めていけるのかという点が少し疑問に残った。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

良かった点は、各事業ごとの戦略などが詳細かつ見やすく、データなども使っていたこと。また、中期経営計画などの方針説明の際に、その背景や、具体的なソリューションの対応などもわかりやすくかかれていて理解しやすかった。

改善点としては、多くの海外拠点、子会社を抱える中で、その管理体制へのこだわりなどがあまりわからなかったこと。以前子会社社員による不正が起きているが、今はどのような管理しているのかがよくわからなかった。また、子会社の種類についても、事業ごとに小出しにはされていたが、まとめて紹介などはされていなかったことが少し気になった。